

「主な取組」検証票

施策展開	3-(11)-エ	過疎・辺地地域の振興		
施策	① 過疎地域の自立促進と辺地対策の推進			
(施策の小項目)	—			
主な取組	公共県代行事業及び市町村道の整備	実施計画 記載頁	298	
対応する 主な課題	過疎・辺地地域は、若者の慢性的流出に伴う人口減少、高齢化等が進行し、集落機能の低下や産業活動の停滞などが指摘されていることから、定住・交通条件の整備、地域に応じた産業振興などを図るとともに、社会的サービスや集落機能の維持を可能とする持続可能な地域づくりが課題である。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容	市町村道は、日常生活を支える上で最も基盤的な社会資本であり、道路網の一環を形成する道路、合併市町村の中心部と周辺部を連絡する道路の新設及び改築、公共公益施設や商業施設等を効率的に連絡する道路の新設及び改築等の地域の生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保等に資する道路整備を促進する。						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	過疎・辺地地域の市町村道の整備					→	県 市町村
担当部課	土木建築部道路管理課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成25年度実績				
事業名	予算	決算見込	活動内容	主な財源
公共県代行事業	0 (123,973)	0 (121,414)	過疎・辺地地域の市町村道の整備(粟国村道)	一括交付金 (ハード)
活動指標名			計画値	実績値
粟国村道一周線の整備			—	L=4,990m
推進状況	平成25年度取組の効果			
順調	粟国村道一周線は平成24年度完了の予定であったが、一部用地未買収のため予算を繰越して用地買収及び道路改良工事を実施し平成25年度に完了した。 日常生活を支える上で最も基盤的な社会資本である市町村道の整備促進により、生活基盤の強化、地域活性化及び良好な生活環境の確保等につながる。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成26年度計画			
事業名	当初予算	活動内容	主な財源
公共県代行事業	0 (0)	過疎・辺地地域の市町村道の整備(粟国村道)が平成25年度に完了した。平成25年度以降は、新規事業箇所はない。	—

様式1(主な取組)

(3) これまでの改善案の反映状況

ほぼ計画通り進捗しており、前年度同様、事業進捗を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
市町村道の道路改良率(過疎・辺地分)	62.7% (22年度)	—	増加	—	63.1% (22年度)
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
状況説明	粟国村道一周線は平成24年度予算を平成25年度に繰越し、可能な用地買収と現況で効果発現できる道路改良工事を実施し、平成25年度に完了。 目標達成に向け、今後も市町村道の整備促進を図る。				

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

過疎・辺地地域は、若者の慢性的流出に伴う人口減少、高齢化等が進行し、集落機能の低下や産業活動の停滞などが指摘されている。 平成24年度より沖縄振興公共投資交付金や沖縄振興特別推進交付金によって市町村でも様々な事業が実施可能となり、事業化に向けた取り組みがなされ他事業との連携も含めた展開が期待されている。

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

定住・交通条件の整備、地域に応じた産業振興などを図るとともに、社会的サービスや集落機能の維持を可能とする持続可能な地域づくりが必要である。

4 取組の改善案(Action)

持続可能な地域づくりに向け、他事業との連携を図りつつ事業推進を図る。そのために、各市町村の他事業とも連携した道路事業が展開される様、情報提供に努めると共に、ヒヤリング等の機会を活用し、取り組み状況等を確認する。
